

# 企業紹介

## 「人材育成 地域貢献 人の幸せ」



社長兼CEO 後藤 勇典  
〒952-0023 佐渡市潟端403-5  
TEL 0259-27-2623 FAX 0259-23-3821  
<http://imark.jp/>

業 種：サービス業  
資 本 金：4,000万円  
事業内容：環境衛生サービス、廃棄物収集運搬、浄化槽  
維持管理、不用品整理回収(お宅かたづけ隊)、  
新エネルギー事業、バイオ燃料製造販売

新潟県のシンボル“トキ”が舞う佐渡島。その佐渡島の美しい環境を守っているのが、トキ保護センターの近くに本社を構えるアイマーク環境(株)である。地域と共に歩んできた同社は、次世代に地域の魅力を伝えるため、様々な挑戦を続けている。

### トキの訪れる環境をつくる

トキ保護センターの近隣に位置し、上空に放鳥されたトキが舞う同社は、佐渡市で清掃業務を営んでいる。

創業は昭和21年。町の奉仕活動や、両津大火の復興支援のため若者を集めて結成した「両津清掃組合」を前身とし、旧両津市の清掃業務を中心に成長してきた。平成18年には現在の社名に変更して、美しい環境を保全する役割を担い続けている。

新しい事業にも積極的に挑戦しており、廃食油をエネルギーとして再活用するバイオディーゼル事業や、佐渡島唯一の霊湯と呼び声の高い新穂湯上温泉の運営など、その業容は多岐にわたる。



▲上空にトキが舞う本社外観

### 地域と共に歩むということ

創業以来、地域と共に歩むことを大切に事業を展開してきた同社。U・Iターンやインターンシップはもちろん、高齢者や障がい者の雇用にも取り組んでおり、地域雇用の貴重な受け皿となっている。

また、佐渡市が力を入れるキャリア教育においても、後藤社長自ら学校を訪れ、教壇に立つなど積極的に参加。子供達や保護者から島内企業を知ってもらい、地元で働くイメージの醸成に尽力している。



▲アイマーク環境社員一同

### 佐渡金山の世界遺産登録に向けて

同社は昨年、世界遺産をテーマに装飾されたパッカー車を新しく導入した。世界的に有名なシンボルを並べ、世界遺産の価値を地域の皆さまに感じてもらうことが狙い。

「もっと多くの人に佐渡の魅力を知ってもらいたい」と語る後藤社長は、今年の1月に、佐渡金銀山の世界遺産登録にむけた応援メッセージを佐渡島内全域に向け、新聞広告を通じて発信した。

世界遺産の登録を通じた地域の活性化を目指し、同社は積極的に地域を盛り上げていく。



▲世界遺産が画かれたパッカー車